
令和6年 10月17日

日本イコモス国内委員会 都庁記者クラブ 会見内容

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町三丁目 26 番地 8

神田小川町三丁目ビル 4階

文化財保存計画協会気付（一社）日本イコモス国内委員会事務局

日本イコモス国内委員会委員長 岡田保良

同理事・国際文化的景観学術委員会日本代表 石川幹子

連絡先：Tel/Fax 03-3261-5303

Email jpicomos@japan-icomos.org

完膚なきまで破壊される 神宮外苑の文化的遺産（Cultural Heritage）

神宮外苑は、国民の献金・献木・勤労奉仕により、つくりだされた文化的遺産です。20世紀初頭の都市美運動にもとづき、「近代風景式庭園の林泉」として創り出され、スポーツ施設も自然と調和する設計が行われました。

この文化的遺産を象徴するものが、絵画館前に広がる芝生広場であり、この自由な空間を包み込むように絵画館、疎林が配され、いちよう並木が形成されました。樹林地は伐採され、芝生広場は会員制テニスコートとなります。

地球温暖化の直撃を受け、衰退が急速にすすんでいるイチ
ヨウ並木、直近には、ヒートアイランド現象を加速させる超
高層ビル、ホテル付神宮球場が建設されます。建設のための
地下杭は40mにも及ぶものであり、地下水遮断の影響も、
全く検討されていません。

このように、今回の再開発事業は、神宮外苑の文化的遺産
を完膚無きまで破壊するものであり、世界イコモスが、ヘリ
テージ・アラートを発し、中止を求めた理由です。

かけがえのない文化遺産が東京から失われることに、世
界の人びとが、重大な懸念を抱いておられます。事業者、そ
して事業の施行認可を行った当事者である東京都におかれ
ましては、謙虚に都民、そして世界の人びとの声に耳を澄ま
されますよう、重ねて要請いたします。